

大阪府収支 970 億円不足見込み

写真上はフェイスブックへの投稿から撮ったものだ。ABC ニュースによると「大阪府の来年度予算 1000 億円近い赤字予算になる見通し」という。コロナ禍で税収下落が予想されていたが、1000 億円近い赤字予算に注目した。



読売新聞 1 月 30 日朝刊が大阪府財政について詳しく伝えている。写真下は府の収支不足額と財政調整基金の推移。コロナ禍により、2021 年度の府財政は急激に悪化しているのがわかる。記事を抜粋して紹介したい。



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、府の 2021 年度一般会計当初予算案の収支不足の見込み額が 970 億円程度に上がることがわかった。府税収入が落ち込む

一方、企業支援などの歳出が膨らんでおり、昨秋に示した概算額 750 億円を大きく上回った。予算額は、過去最大規模の 3 兆 5110 億円になるとしている。

歳入のうち、法人税を中心とした実質的な府税収入は、コロナ禍での企業業績の悪化を受け、20 年度比 2 割減の 9940 億円とした。ただ、税収減により国からの交付税が増額されるなどし、全体としては 3 兆 4150 億円に増える見通し。

歳出は 3 兆 5110 億円で、33% (8740 億円) の大幅な伸びとなる。府は各部局に対し、予算要求額の 5% カットを求めていたが、企業が低金利で融資を受けられるようにするための「制度融資預託金」が全体を押し上げた。預託金は資金繰り悪化を受け、3 倍超となる 8910 億円を計上する。20 年度分についても当初予算時点から増大し、1 兆円余りになるという。

970 億円程度の収支不足には、貯金にあたる「財政調整基金」を取り崩して対応する。19 年度に 1562 億円あった残高は既に新型コロナ対策への事業費に多くが充てられ、234 億円にまで目減りしている。国からの財政措置で 3 月末には 1440 億円にまで回復するが、970 億円の収支不足に対応する 21 年度末時点には 470 億円程度になると試算している。

ABC ニュースを視聴して、この記事を読んで感じたのが大阪府財政の厳しさである。これまで住民投票に関わって大阪市財政に目を向けてきたが、大阪府財政の方が深刻な状況なのだ。大阪府は法人関係税に大きく依存する税収構造であり、コロナ禍の影響をまともに受ける。財政が制約されるなかで、万博など大規模プロジェクトを強行しようとしており、そのためにも「大阪市乗っ取り」の条例化を強行しようとしているのでは。

(2021 年 2 月 2 日)